

大規模小売店舗立地法手続きに係る 交差点処理計画

ネクステージ寝屋川店

<添付資料：大規模小売店舗立地法施行規則 第四条第一項第五号>

駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の
予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

1. 交差点処理計画の概要

「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」に基づいて算出した増床後のピーク時発生交通量^{*1}を用いて、増床後の自動車の方向別台数を予測し、当該店舗周辺の交差点にて交通量調査を行い、当該駐車場形式を踏まえて交通量について検討した。

なお、本検討に係る交通予測については、平成12年12月通商産業省産業政策局流通産業課「交通対策に関するケーススタディ」の手順に準拠している。

^{*1}(資料<1> ピーク時増加台数及び必要駐車台数参照)

2. 駐車場出入口における入庫台数の検討

2.1. 当該店舗駐車場概要

- ・ 駐車場形式 : 自走式
- ・ 出入口等 : 合計2箇所

2.2. 方向別自動車台数の設定

増床後の来客車両交通量による影響を検討するため、以下の手順に従い、出入口の方向別自動車台数を設定した。ただし、4) ゾーン別世帯構成比の算定には、国勢調査(2020年)における町丁目別世帯を適用した。

- 1) 来店者の分布範囲の設定
- 2) アクセス経路の設定
- 3) 来店者の分布範囲の分割(ゾーニング)
- 4) ゾーン別世帯構成比の算定
- 5) 方面別ピーク時自動車増加台数の設定
- 6) 方向別自動車台数の設定

1) 来店者の分布範囲の設定

当該計画店舗における来店者の分布範囲は店舗を中心とした半径3.0kmとした。

2) アクセス経路の設定

来店者の分布範囲内の幹線道路網上に、当該店舗までの広域のアクセス経路を方向別に設定した。また、当該店舗周辺道路についてはアクセス経路^{*2}からの最短経路を設定した。

^{*2}(図-1 広域アクセス経路参照)

A) 広域アクセス経路

1) で設定した来店者の分布範囲内では、広域アクセス経路に該当する幹線道路は、「周辺市道」「国道170号」「府道13号」「府道15号」「府道18号」「府道19号」の6経路である。ここでは、この経路を主なアクセス経路とし設定した。

B) 周辺アクセス経路

当該店舗周辺は、周辺アクセス経路が「府道13号」の1経路となる。

3) 来店者の分布範囲の分割（ゾーニング）

2) で設定したアクセス経路及び来店者の分布範囲等の影響を勘案し、経路から境界の町丁目を目安に、当該店舗を中心とした半径3.0km以内の範囲を地図上でA～Cの3つ^{*3}に分割した。

^{*3}(図-2 ゾーン区分参照)

4) ゾーン別世帯構成比の算定

国勢調査の結果より、町丁目別世帯を適用した場合の、当該来店者の分布範囲の総世帯数は、115,604世帯である。この世帯数を、3) で設定したゾーニングに従って集計し、ゾーン別の世帯数構成比を算定し、表-1に示した。

表-1 ゾーン別世帯数構成比

ゾーン	ゾーン別世帯数（構成比）
A方面	10,621世帯（9.2%）
B方面	57,419世帯（49.7%）
C方面	47,564世帯（41.1%）
計	115,604世帯（100.0%）

5) 方面別ピーク時自動車増加台数の設定

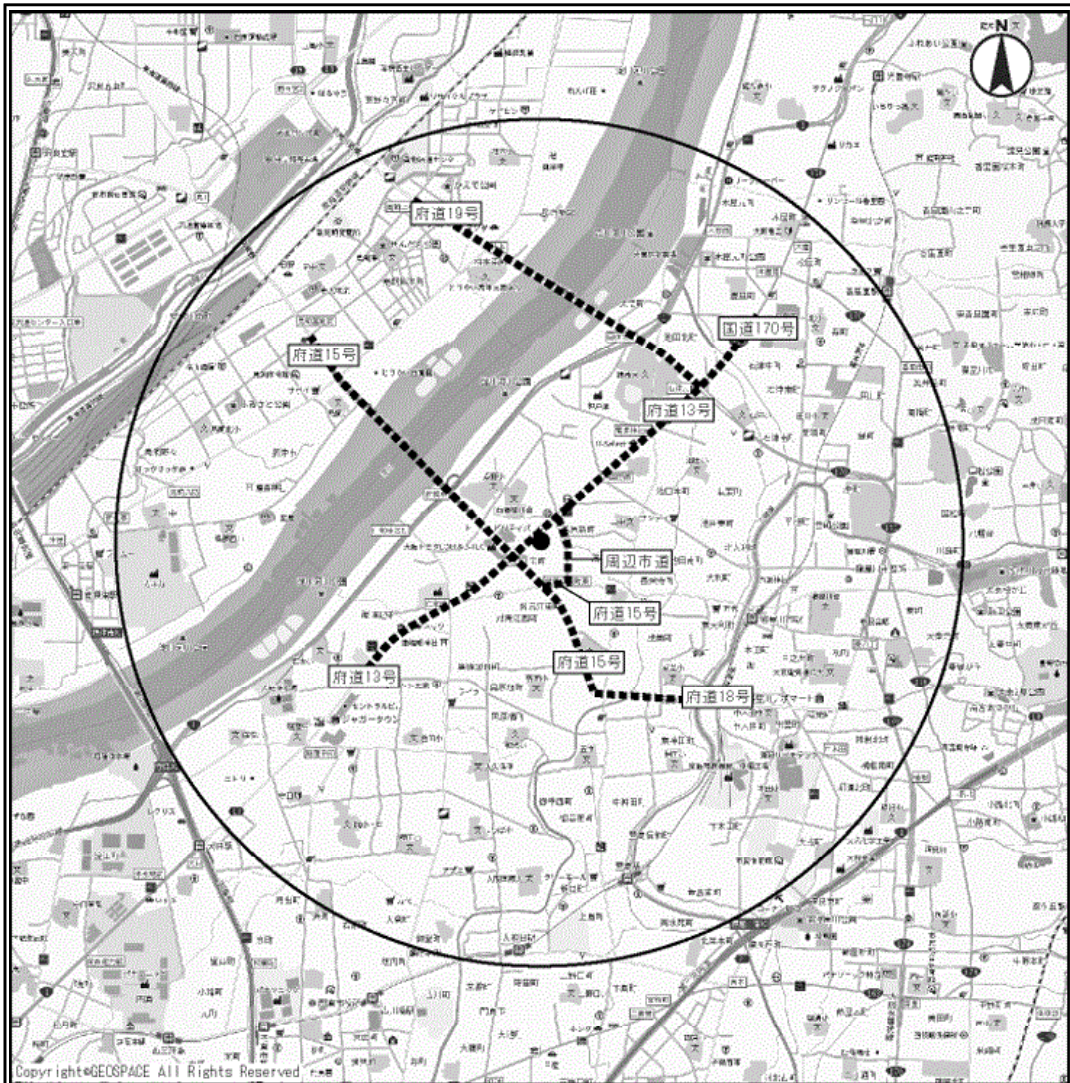
指針の計算式で算出したピーク1時間当たりの自動車増加台数69台^{*4}に、4) で算定したゾーン別世帯構成比を乗じて予測した方向別ピーク時自動車増加台数を設定した。

^{*4}(資料<1> ピーク時増加台数及び必要駐車台数参照)

6) 方向別自動車台数の設定

各方面別自動車来台数をその方面を分担するアクセス経路に割振り^{*5}、来店経路の方向別自動車台数を設定した。

^{*5}(別紙 来退店経路図（広域）参照)



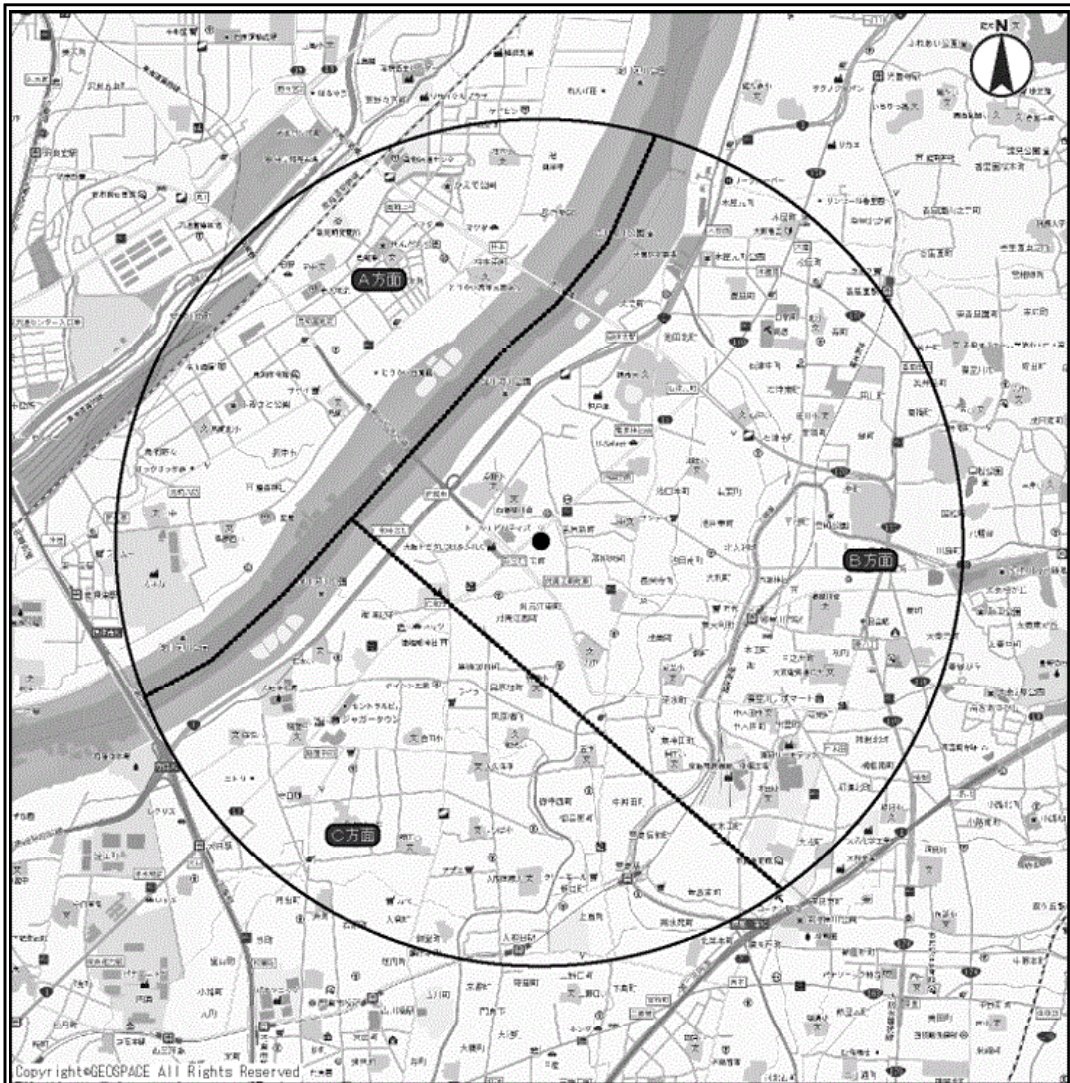
縮尺 1.5km

凡 例

- : 計画地
- : 当該店舗を中心とした半径3.0km
- : アクセス経路

アクセス経路: 「周辺市道」「国道170号」「府道13号」「府道15号」「府道18号」「府道19号」

図-1 広域アクセス経路



- 凡 例
- : 計画地
 - : 当該店舗を中心とした半径3.0km
 - : ゾーン区分
 - 世帯数合計 : 115,604世帯

図-2 ゾーン区分

2.3. 入口の入庫台数

年間の平均的な休祭日、平日のピーク1時間に予測される増加分に伴う来客の自動車の方面別来店台数の予測の算出結果を表-2、駐車場出入口別来店台数の予測の算出結果を表-3に示す。

表-2 方面別ピーク時自動車来店台数

ゾーン	A方面	B方面	C方面
比率(100.0%)	9.2%	49.7%	41.1%
増加69台/時	6台/時	34台/時	29台/時
合計187台/時	17台/時	93台/時	77台/時

表-3 駐車場出入口別来店台数

	駐車場出入口	
	入口	合計
分担比率	100.0%	100.0%
予測増加台数	69台/時	69台/時

当該店舗駐車場において来店車両が流入できる出入口等は合計1ヶ所設置してある。

3. 交通量調査

当該計画店舗周辺2箇所において、下記のとおり交差点交通量調査を実施した。

3.1. 交通量調査概要

調査場所	調査年月日	
交差点A (葛原)	令和 6年11月10日(日)	令和 6年11月11日(月)
交差点B (新宝町)	令和 6年11月10日(日)	令和 6年11月11日(月)
調査方向	交差点流入全方向(数取器による)	
車種区分	普通車、大型車の車種区分(ナンバープレート頭番号により判別)	

表-4 車種区分

車種	ナンバープレート頭番号	備考
大型車	0,1,2,8,9	8ナンバーは形状により判断する。 (例)パトカー：普通車 運転免許教習車：普通車
普通車	3,4,5,6,7,8	

4. 現況と増床後における交通量の比較

4.1. 交差点処理能力の検討

各交差点について交差点需要率を算出し、開店後の来店者の影響による交差点の処理能力を現況と比較した。

①方向別発生集中(来店/退店)交通量の予測

方向別発生集中交通量の予測は、「2.1.当該店舗駐車場概要 2.2.方向別自動車台数の設定」において自動車の増加台数を考慮し、退店台数は増加台数と同じ台数が退店すると想定して予測することとした。

また、指針の計算式による来店台数は、年間の平均的な休祭日における予測台数であるが、平日においても休日と同じ台数が来店するものとした。

②将来交通量の予測

・将来一般交通量

現況の交通量調査結果を将来一般交通量とした。

・将来交通量の予測

将来交通量は、将来一般交通量と方向別発生集中交通量を加算した結果とする。また、予測時間帯は当該店舗の営業時間内における交差点交通量のピーク時間帯とし、表-5に示した。

表-5 ピーク時間帯

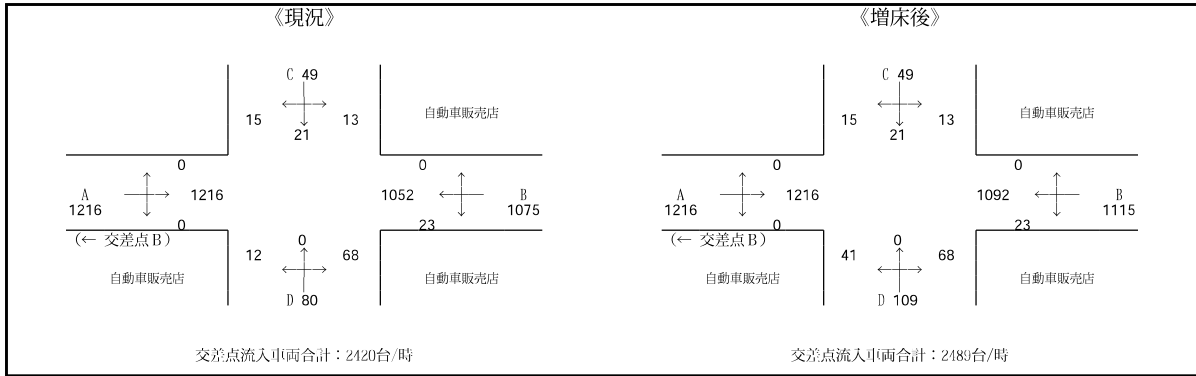
調査地点	休日	平日
交差点A (葛原)	15時台	17時台
交差点B (新宝町)	15時台	17時台

4.2. 方向別交通量

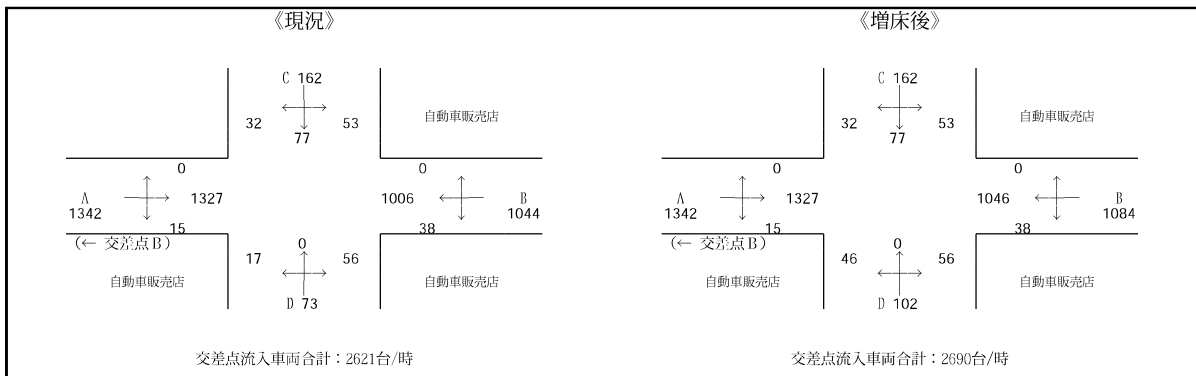
交通量調査を行った各交差点について、現況と増床後の方向別交通量を比較した。

【交差点A（葛原）】

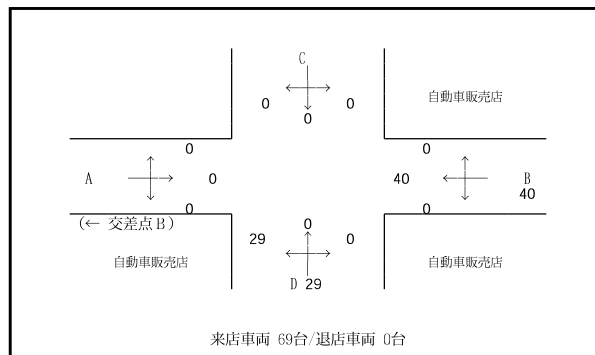
<休日/15時台>増加台数 69台



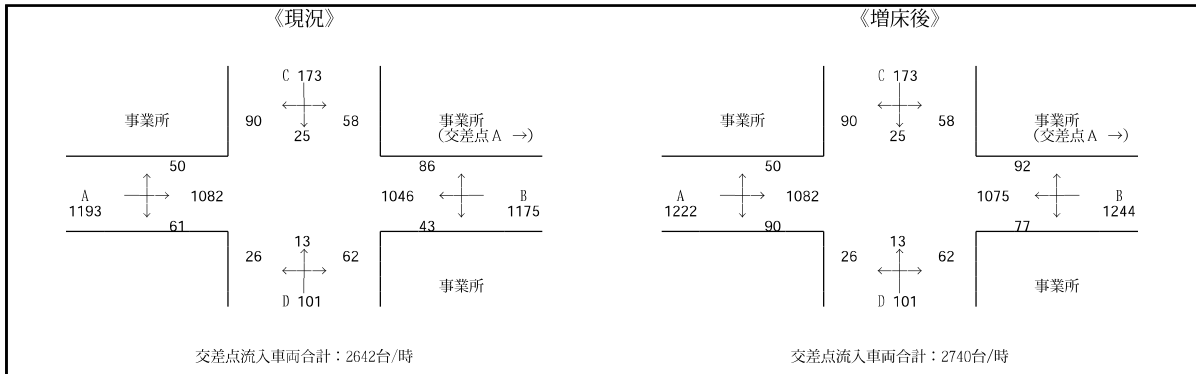
<平日/17時台>増加台数 69台



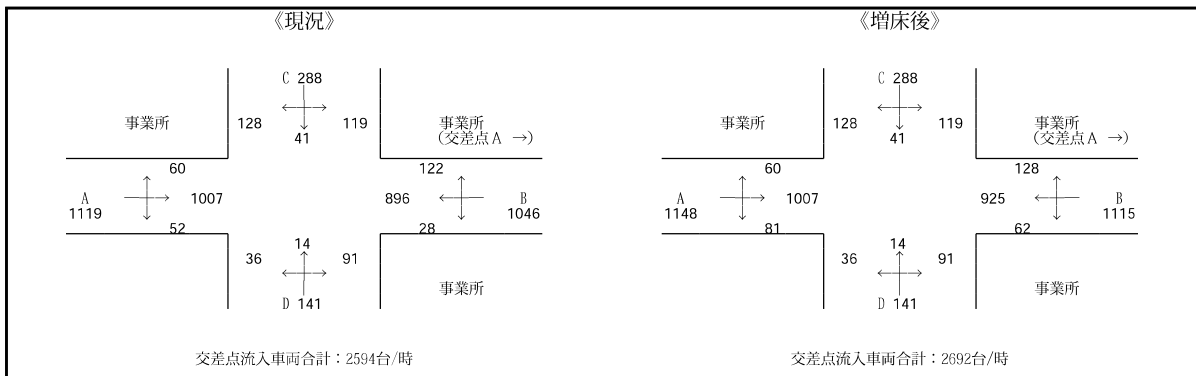
【交差点車両増加台数（網掛けなし：来店車両／網掛け：退店車両）】



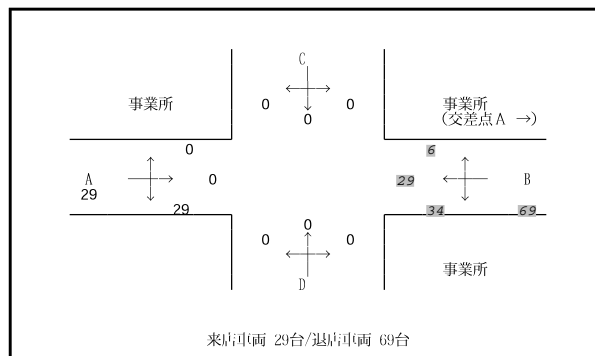
【交差点B（新宝町）】
 <休日/15時台>増加台数 98台



<平日/17時台>増加台数 98台



【交差点車両増加台数（網掛けなし：来店車両／網掛け：退店車両）】



4.3. 交差点需要率の比較

表-6-1 交差点A（葛原）需要率

	休日		平日	
	現況	増床後	現況	増床後
需要率	0.333	0.335	0.430	0.430
現況と増床後の差	0.002		0.000	
ピーク時間帯	15時台		17時台	

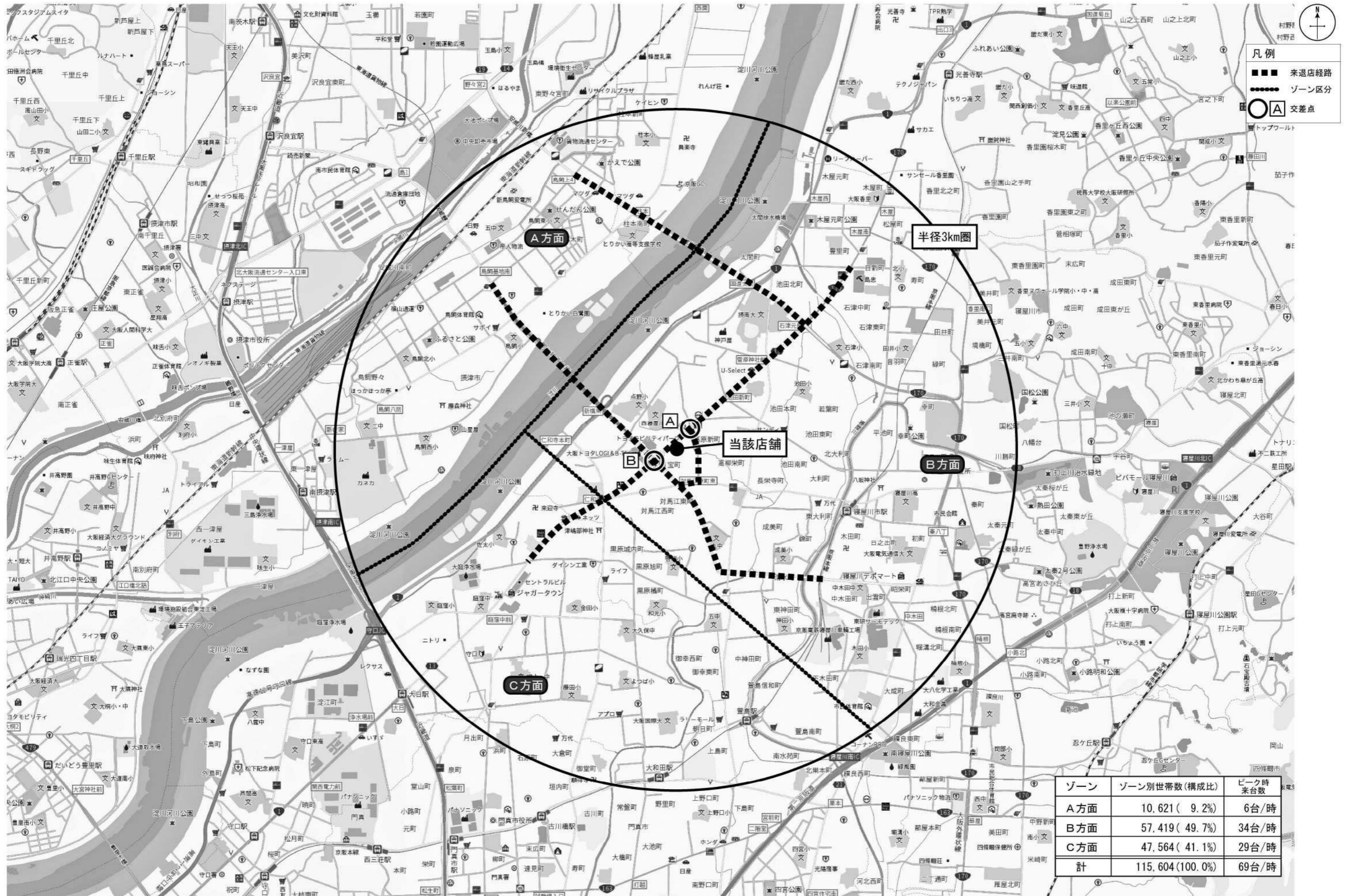
表-6-2 交差点B（新宝町）需要率

	休日		平日	
	現況	増床後	現況	増床後
需要率	0.392	0.404	0.464	0.468
現況と増床後の差	0.012		0.004	
ピーク時間帯	15時台		17時台	

一般的に交差点需要率が0.9以下であれば円滑な交通処理が可能であると考えられます。

別紙 来退店経路図 (広域)

SCALE=1:30,000



ゾーン	ゾーン別世帯数 (構成比)	ピーク時 来台数
A方面	10,621 (9.2%)	6台/時
B方面	57,419 (49.7%)	34台/時
C方面	47,564 (41.1%)	29台/時
計	115,604 (100.0%)	69台/時

別紙 来退店経路図 (周辺)

SCALE:1:3,000

